

奥羽山脈・栗駒山（国定公園）

# 世界谷地

## スノートレッキング



そこを抜けると、  
森は雪原の真っ只中

◎期 日：3月23日(日)

9:30 集合【新湯温泉くりこま荘】  
10:00～13:00 和かんじきでスノートレッキング  
【栗駒山・世界谷地原生花園第一湿原】  
13:00～15:00 昼食(イワナ丼)・温泉入浴  
【新湯温泉くりこま荘】

◎参加費：4,000円(ガイド料、保険料、昼食、温泉入浴、かんじきレンタル)

◎定 員：25人(最少催行人数10人・中学生以上)

◎集合場所：新湯温泉くりこま荘

(〒989-5371 宮城県栗原市栗駒沼倉耕英東95-2)  
※無料送迎バスを運行(詳しくは裏面参照)

持ち物(要チェック!!)

- 防寒長靴(スノーボードのソフトブーツも可)
- 防寒着(防水性の服) 手袋 帽子
- タオル 着替え ゴーグル又はサングラス
- 保温ボトルに温かい飲み物 リュック 行動食
- スキーストック(お持ちの方のみ)

栗駒山の中腹「世界谷地」に広がる雪原。自然素材で作られた「和かんじき」を履いて、インストラクターと一緒にトレッキングします。

東北の山間部の冬はとても長く雪深く、少し前の時代まで「和かんじき」は冬の暮らしに欠かせない道具でした。人間の都合だけでは制御できない自然の豊かさと厳しさを、昔ながらの道具を使い、自分の足で踏みしめて体感することで、ecologyの本質と栗駒山麓の豊かさの価値を見つめ直すイベントです。

起伏のあるコースを休憩しながら、約3時間かけてゆっくりと歩きます。



インストラクター  
花山山岳会 太宰 智志・渡部 秀樹  
栗駒山麓をフィールドにしたプロのガイドチームです。歩き方はもちろん、栗駒山の地形や歴史、植生などを解説しながら、参加者をエスコートします。

【申込・問い合わせ先】 ※裏面の参加申込書でお申込みください ※裏面の注意事項を必ずご確認ください  
一般社団法人 栗原市観光物産協会 ☎0228(25)4166 FAX0228(25)4182 ✉kurihara-kb@grace.ocn.ne.jp

◆本事業はアサヒビール株式会社「うまい!を明日へ!」プロジェクト、観光エコ活動推進事業の補助金により運営しています。

(主催) 一般社団法人 栗原市観光物産協会 (協力) くりはらツーリズムネットワーク



奥羽山脈・栗駒山（国定公園）



# 世界谷地

## スノートレッキング

# 参加申込書

【申込先】 一般社団法人 栗原市観光物産協会 ☎0228(25)4166 FAX0228(25)4182  
 ☒ kurihara-kb@grace.ocn.ne.jp 〒989-5612 宮城県栗原市志波姫新熊谷 284-3

(ふりがな)		性別
名前		男・女
住所	〒	
生年月日		
電話番号		
F A X		
無料送迎バス	利用しない 利用する（くりこま高原駅・築館総合支所・栗原市役所）	
※時間は予定です。 天候等の事情で変更 する場合があります。 ※無料送迎バスをご利 用の方は、申込時に お申し出ください。	[行き] 7:40 くりこま高原駅 オアシスセンター前 8:00 築館総合支所 駐車場 8:15 栗原市役所 玄関前 [帰り] 16:00 栗原市役所 玄関前 16:15 築館総合支所 駐車場 16:35 くりこま高原駅 オアシスセンター前	

### 仙台方面からお越しの場合

【JR東北新幹線】 ※「くりこま高原駅」で無料送迎バスに乗降

[行き] やまびこ97号 仙台駅発7:06 くりこま高原駅着7:30

[帰り] はやぶさ104号 くりこま高原駅発17:56 仙台駅着18:18

【東日本急行高速乗合バス】 ※「栗原市役所」で無料送迎バスに乗降

[行き] 「仙台駅前-栗原市金成庁舎前線」 仙台(西口バスプール) 7:00 発 栗原市役所前 8:05 着

「仙台駅前-一迫総合支所前線」 仙台(西口バスプール) 7:15 発 栗原市役所前 8:12 着

[帰り] 「仙台駅前-栗原市金成庁舎前線」 栗原市役所前 16:42 発 仙台(西口バスプール) 17:39 着

【注意事項】 ※必ず確認してください

- ◎大雪・吹雪以外は決行ですが、天候、コース状況により中止またはコース変更する場合があります。
- ◎イベント開始後の中止、コース変更につきましては参加費の返却は出来ませんのでご了承ください。
- ◎無料送迎バスをご利用の方は、申込時にお申し出ください。乗車時、各自トイレをお済ませの上ご乗車下さい。
- ◎参加申込後のキャンセルにつきましては、前日は半額、当日は全額のキャンセル料を申し受けます。
- ◎賠償責任保険・傷害保険加入いたします。イベント期間中の事故に関しましては、保険内での処置・補償を行います。それ以上の責任は負いかねます。ご心配な方はご自身で登山保険等にご加入下さい。